

25世紀につなげる公共工事を！ 熱い、技術者「魂」の継承



しょうや おおくぼそうご
劇団 庄屋 大久保宗悟

令和5年10月25日

(熊野農林事務所 農村基盤室)

わたしたちの仕事

熊野農林事務所 農村基盤室

ハード

ため池等整備事業

中山間地域総合整備事業

ソフト

多面的機能支払交付金

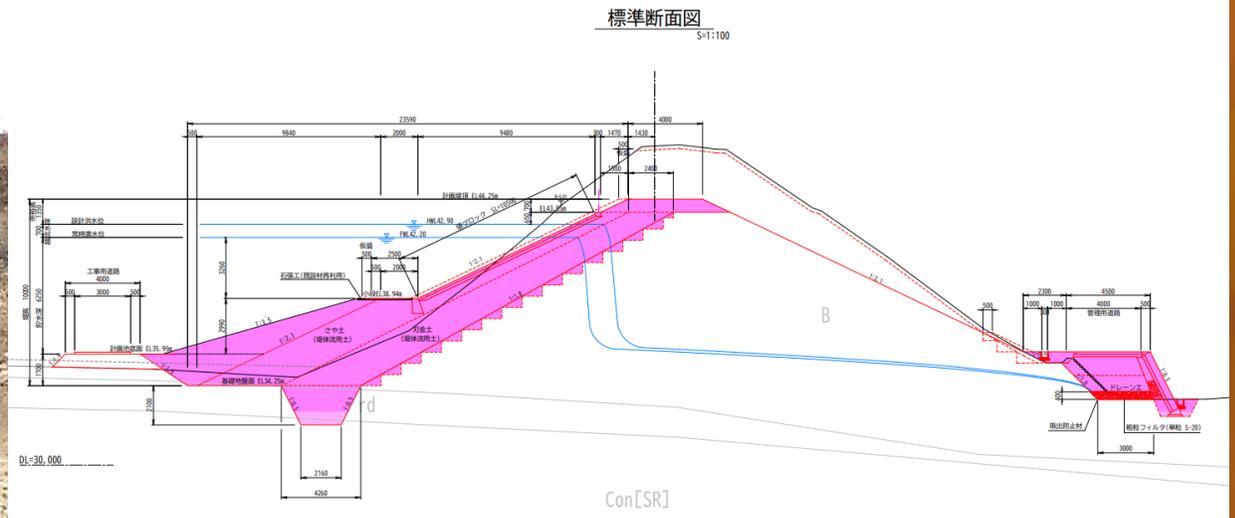
くろいわいけ
黒岩池 (御浜町下市木)
みはまちょうしもいちぎ

江戸時代につくられてから、補修改修されておらず...

災害時キケン ⚠️



防災対策工事の実施



むかしの技術もすごかった

きゅうていたい
○旧堤体の土をそのまま再利用



しゃひ
○石でできた斜樋



いしばり
○堤体法面を保護する石張

そこひ
○木でできた底樋



これからどうしよう…



農業者の減少・高齢化により

池の水を使う農業者だけでの継続的な管理は困難

400年後につなげるため



組織的な管理体制の構築が必要！

そのために…

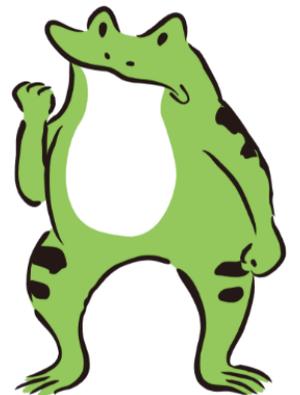
＼農業者以外の方にも／

○黒岩池の役割を知ってもらおう！

○地域の大切な資源として認識してもらおう！

＼継続的な管理体制／

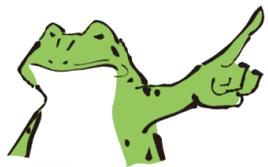
○多面的機能支払活動組織へ働きかけよう！



おいたち

1661~1672頃(寛文の頃)	御浜町下市木の ^{にしのだいら} 西の平の田地を開墾(7町余歩)	
1666(寛文6年)頃	黒岩池完成	
1667(寛文7年)頃	西の平の開田が完了(反別30余町歩)	
1915(大正4年)頃	当時の村長らが発起人となり、開墾碑を建立。	
1945頃(戦後まもなく)	当時の林松寺和尚が専門家に依頼し、「 西の平開田記 」という芝居を作成。 農協職員や青年・有志の手により、地芝居として公開。	
1997(平成9年)年1月30日	有形文化財(建造物)として御浜町指定文化財に指定。	

庄屋 ^{おおくぼ}大久保 ^{そうご}宗悟



下市木を救ったヒーロー

「大久保宗悟さんのお墓より高い墓を建ててはいけない」ということが語り継がれた

『今度の仕事が成就すれば、この下市木村は、豊かに稔る黄金の波で埋まるのだ』

当時の下市木は

「浜は片浜、漁はなく、土地は広いが草ぼうぼう」

米の取れるのは何年に一度…

→ 毎年600石ほどの米がとれるように

約1,500俵



どうしたら伝わるかな

『完成期限と経費の問題、村人の仕事の成否に関する疑惑。皆、長い年月の疲れも出ている・・・』

「下市木を豊かにしたい」

「未来へ残すものをつくりたい」

宗悟さんや村人たち、技術者たちの熱い思い

知識・知恵・高度な技術力

- チラシの作成・報道資料提供
- 林松寺への協力依頼
- 参加者のしおり・クイズの作成
- 黒岩池カードの作成・当日配布
- 事務所内研修(リハーサル)
- 「西の平開田記」を紙芝居に**



林松寺通信
令和五年 九月

〔案内〕
黒岩池(御浜町指定文化財)「令和の大改修、ため池工事現地見学会」― 大久保宗悟氏に思いをさせて―が開催されます。關心のある方は、是非ご参加ください。
日時 十月二十五日(水曜、午後二時〜四時、雨天の場合は十月三十一日、火曜)
集合場所 林松寺会館
二時〜二時四十五分(会館にて歴史などについての説明)
二時四十五分〜 黒岩池は移動、石積工事復元の様子などを見学)
*お問い合わせ&お申し込みは左記へお願いします。
熊野農林事務所、農村基盤室 農村計画課 電話 0567-89-0128(山口・中西)



大成功！

○地元住民 **23**名

○県・御浜町職員 11名

○報道機関 5社(新聞社4社、CATV1社)

○農村基盤室職員 9名(運営スタッフ)+所長

『おお嬉しや！嬉しや！喜ばしや！』



【満足度】 (アンケート結果より)

満足・・・85%
やや満足・・・15%

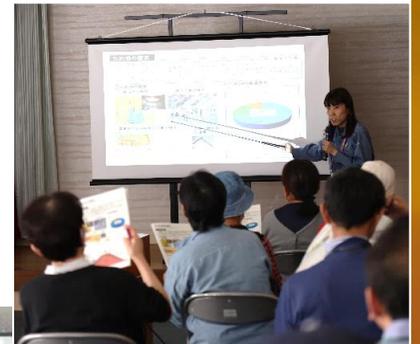
100%



【また参加したいですか？】

参加したい

100%



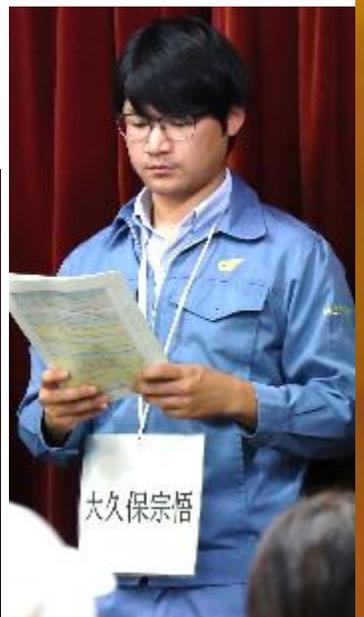
劇団 庄屋 大久保宗悟

「今まで知らなかった黒岩の池の歴史や建設や構造など詳しく知ることができました。」

「心尽くしの「紙芝居」を始め、初めて知る感動的な内容でした。」

「大満足。すばらしい企画、紙芝居もとても良かったです。」

「紙芝居も大変な準備だったと思います。また地元の人、子供たちにも見せてあげたいです。」
(アンケート結果より)



得たこと

○「地域の宝」だという意識の醸成

○継続的な管理体制の構築

自分たちが管理している地域が、大久保さんや大勢の無名技術者たち先人の熱い思いによって作られたものだ
だと知り、これからもこの地域を守っていききたいと改めて思った。

(市木地区みどりの会)

○農業土木技術の意味・意義・必要性を再認識

○職務への意欲向上

○職員間の連携強化



職員の声

地元がこんなに関心あるなんて思わなかった。
伝わるか不安だったけど、伝わって良かった。
自分たちの意識改革にもなった。

これから

○遺産の保存・継承

○他の農業用施設の歴史の調査・継承

○公共工事をきっかけにハード・ソフトの両面で地域を支える



800年間スケジュール

1661年頃

○月×日 西の平の田地開墾開始

1666年

○月×日 黒岩池完成

1667年

○月×日 西の平の田地開墾完了

1945年前後

○月×日 「西の平開田記」地元の人々
により芝居として公開

1997年

1月30日 有形文化財(建造物)として
御浜町指定文化財に指定

2022年

9月16日 黒岩池改修工事開始

2023年

10月25日 現場見学会にて職員たちにより
「西の平開田記」紙芝居として上演

2024年

3月20日 林松寺にて地元住民とともに
「西の平開田記」紙芝居として上演

2025年

3月×日 黒岩池改修工事完了

.....

2423年

○月×日 黒岩池改修工事開始



当時の人たちの思いも未来へ...



おしまい